

リクエスト本の紹介

『母と暮せば』 山田洋次・井上麻矢著

集英社 2015

映画を観て、「小説も読みたい!」と思ったのでリクエストしました。映画ではわからなかった浩二、伸子、町子の気持ちがよくわかりました。戦争で大切な人を失った悲しさや「今も生きている」と願う気持ち。当時の人が体験した気持ちが伝わってきます。二宮くんファンも、そうでない人もぜひ読んでみてください!!

H1 RS

『夜を乗り越える』 又吉直樹著 小学館よしもと新書 2016

『火花』で芥川賞を獲得以来、注目されている又吉が、読書は頭のいい人たちだけのものじゃない、と力説している本。彼によれば、本を読むときに批判的なレビューは要注意。「最初から批判的に読もうとする人間には虫唾が走ります。見当はずれの意地悪な読み方をする人間は、本来その本が持っている能力を封じ込める作業をしているようにも見えますし、読書を楽しみたい僕にとっては有害だから嫌いです。(略) 悪意で読む者より、感情に流されずフラットに読む者より、本に対して協力的に面白く読めるの方が読書を楽しんでいるという想いはさらに強くなりました」前半は太宰の『人間失格』がどうして芸人としての彼の感覚にじっくりくるのか、彼自身の文学との出会いを、また芸人としてオリエントラジオの中田敦彦の本の読みどころはどこか、なども丁寧に書かれていて楽しめます。YM

『天才』 石原慎太郎著 幻冬社 2016

著者が田中角栄になりきって生い立ちから死の瞬間まで書いています。高等小学校卒という学歴ながら総理大臣にまで成り上がった男。「日本列島改造論」を引っさげて日中国交正常化・自動車道や新幹線整備と戦後政治を牽引した大物政治家。政治ばかりでなくコンプレックスや私生活などが描かれていて、田中角栄をよく知らない人にはわかりやすい入門本だと思います。

H1 YK

文豪ストレイドッグスのパネル展

2016年10月5日(水)～11月6日(日)

開館時間: 10:00～17:00 (入館は16:30まで、最終日15:00まで)

会場: 芦屋市谷崎潤一郎記念館
ロビーギャラリー

入館料: 一般400円 大・高生300円
中学生以下無料

描き下ろしイラストを展示
いつもTシャツ姿の谷崎がもし着物を着ていたら…
…? 「文豪ストレイドッグス」の春河35先生描き下ろしのオリジナルイラストをパネル展示します。猫をかわいがる着物姿の谷崎が見られるのはここだけ!



芦屋市谷崎潤一郎記念館は
〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12-15
TEL: 0797-23-5852 阪神芦屋駅から徒歩15分、JR芦屋駅から徒歩25分、根性出して歩いて読書の秋を満喫してみませんか?

10月26日(水) 放課後 ハロウィーン ワークショップ



黄色いかぼちゃのランタンを作ります。美術の宮崎先生が指導して下さいます。自分の好きなデザインのランタン、つくりましょ。右の写真よりは小さいですが、かわいいかぼちゃを使います。汚れてもいい服装(ジャージかエプロン)で図書館まできてください。先着順。

予告: 11月4日(金)～10日(木) 宗教週間にブックリサイクルを実施します。

今年はミステリ・SFがたくさんでています。文庫と入れ替えた比較的きれいな単行本も! 映画『君の名は』にインスピレーションを与えたSF小説も出てます。

1冊10円以上の寄付をお願いします。いただいた寄付は熊本地震で被災した学校図書館の支援に充てさせていただきます。

ふるってご参加ください。また宗教週間中の5日(土)には兵庫学校図書館スタンプラリーも開催されます(10:00～16:00)。小学生(男女)、中学生女子と保護者の方、大歓迎です。お友達、お誘い合わせの上、ぜひ図書館にきてゲームを楽しんで下さい。ピーノちゃんもお待ちしております。他校のスタンプと2個になると素敵なプレゼントがもらえます。